

生活の状況に関する調査票（特例）

質問1・2-1ともこちらに印をつけたら質問3へ進んでください。

変更があった場合は、一旦決定した減額を遡って取消したり、事実判明の時点で打ち切る場合がありますのでご了承ください。

質問1. あなたは●●年度にどなたかの住民税法上の被扶養者となつていない なつていない なつている *

質問2-1. あなたの加入する健康保険の種類はどれですか。
 国民健康保険 その他（社保・共済等）
 または後期高齢者医療保険

こちら全てに印をつけた場合、非課税証明書の発行または同意書の記入が必要です。

質問2-1で「その他（社保・共済等）」を選択した場合のみ、質問2-2.

質問2-2. あなたの加入する健康保険の被保険者証の被保険者はどなたですか。
 あなた あなた以外 *

* 質問1で「なつている」と回答した方 または質問2-2で「あなた以外」と回答した方
減額申請にはそれぞれ該当する住民税法上の扶養者、健康保険被保険者証の被保険者が非課税であることが要件となります。
⇒ その方の住民登録が●●年1月1日時点で品川区に・・・
I)ない場合：その方の課税地発行の非課税証明書が必要です。
II)ある場合：下欄の同意書に必要な事項をご記入ください(非課税証明書は不要です)。

同意書

私は、介護保険料減額申請審査のために必要があるときは、住民税の課税状況につき、税務部局などの関係機関に必要な照会を行うことに同意します。

氏名（申請者の扶養者もしくは健康保険の被保険者証の被保険者）

申請者との続柄

住所（申請者の扶養者もしくは健康保険の被保険者証の被保険者）

〒

電話 ()

質問3. ●●年1月2日以降にあなたの世帯に転入してきた方がいますか。

いない

いる

* 質問3で「いる」と答えた方の減額申請には転入してきた方が非課税である事が要件となりますので、課税地発行の非課税証明書が必要です。

転入してきた年月日

年 月 日

転入してきた方の氏名と年齢

(歳)

質問4. あなたの住んでいる住居にあなたとは別の世帯の方が住んでいますか。

いない

いる (下欄にその状況をご記入ください)

<同住居に住む別世帯の方の氏名とあなたとの関係>

いずれの質問でも、「いる」に印をつけた場合、それぞれどのような状況か、可能な範囲で詳しくお書きください。

<同住居に住む別世帯の方の生活費の負担状況>

質問5. あなたは、仕送り等の経済的な援助を受けていますか。

いない

いる (下欄に内容や月額等の状況をご記入ください。)

<仕送り等の経済的な援助の状況>

質問6. あなたは、失業等給付または遺族年金や障害者年金の給付を受けていますか。

いない

いる (下欄に受給年金等の名称と月額をご記入ください。)

<受給内容>

最後にご署名ください。

次の事柄について、確認のうえご署名ください。

当該減額の適用にあたっては、①申請者の銀行預金、郵便貯金および国債・地方債等の合計額が300万円未満であること、②申請者が居住用以外に処分可能な土地または家屋を所有していないことが要件となっていますが、確かに私は、これを超える資産を所有していません。

申請者署名